

アンテナ 出東

発行／出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ／TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 ……………1,301戸

●人口 ……………3,805人

男性/1,882人 女性/1,923人

令和7年5月31日現在

17年前から育てた花のチャリティーオークションを行い、友人の住む東日本大震災の被災地、陸前高田市へ義援金を贈り続ける。これまでに送った額は130万円を超え、同市市長から感謝状が贈られた。



育てた花で
被災地・陸前高田市に
エールを送り続ける

Kirari shuttoubito

キラリ
出東
びと

昭和自治会
曾田園芸農場長
曾田寿博さん(45)

曾田園芸は曾祖父父母が開業し、寿博さんで4代目。出雲農林高校を卒業し、埼玉県の園芸専門学校で園芸農家に必要な各種資格や技術を習得し、卒業後は群馬県のシクラメン農家で修業した。

曾田園芸就農後、当時のシクラメン主体の生産では手間が掛かり、一年を通しての収入が不安定なため、市場で人気が高く新規参入の少ないクリスマスローズ主体にかじを切った。今ではシクラメンにアジサイ、主力のクリスマスローズを計16棟のハウスで手掛けている。

現在は、父母のほか若手を含む従業員9人で切り盛り。暑さに弱いクリスマスローズを夏場は涼しい広島県の高冷地で、山あげ栽培。し、独自に開発した遠隔管理・監視システムで逐一、植物の状態に目を光らせる。

クリスマスローズの人気は、ユーチューブなどのSNSで若い人にも浸透。展示会でのチャリティーオークションでは「チャリティーかつレアもの商品には皆さん財布の紐が緩むので、少しでも高値で売れて寄付金が増えるよう、お客さん同士で競い合っ」と、健康そうな顔をニコニコさせながら話

す。今後について「取引業者からの提案もあり種苗の海外展開を進めています」

と力を込める。



オリジナルの
花を世界に!

人権について考えてみよう 〈Vol.8〉

人権
コラム



クイズ

親子(家族)ではなしあってみよう!!

親子(家族)ではなしあってみよう!!
 ~「ちがいのちがい」人権 O X クイズ~

ルール 「あってもよいちがいは○、「ない方がよいちがいは×と考える

<問題1>

C君は青い色が好きだが、
D君はピンク色が好きだ

＜問題2＞

日本では食事の時に、はしを使うが、
とある国では指を使って食べる



小学校の学習公開で取り上げられた

「人権〇×クイズ」を紹介します。

親子(家族)ではなしあってみてくださいね。

みなさんは「あってもよいちがい」と思われますか？
(○)、「ないほうがよいちがい」だと思われますか？(×)

皆さんご家庭、地域、職場で人権について考えるきっかけとして活用していただき、多くの皆さんの「人権への気づき」へつながり、一人ひとりが尊重される社会の「築き」につながっていくことを心から願っています。

3月
1日

土

災害後のつらい思い、戦後の
つらい思いを知ってもらいたい

出東コミュニティセンター専門部・災害対策委員会合同研修

令和6年度2回目の専門部研修は、各専門部と出東地区災害対策委員会合同の31名で、広島市豪雨災害伝承館視察と広島平和公園・資料館を見学しました。

10年前の2024年8月に発生した豪雨による広島市の大規模な土砂災害を教訓に、再度災害が起きて一人も犠牲者を出さないという思いから出来た同館。被災者で副館長の松井憲さんに、当時の状況や復興のあゆみなどを聞いたほか防災設備などを見学し、防災・減災に対する考えを学びました。

午後は、1歳時に被爆した岡本忠さんに被爆者として苦労した生活を生々しく語っていただいた後、平和記念資料館を見学し、改めて原爆・戦争の悲惨さを再認識しました。



▲自らの被爆体験を語る岡本さん

4月
19日

土

活動計画案や役員数低減案
などを承認—自治協会総会—

出東地区自治協会

本年度新たに選出された出東地区55地区の自治会長が参加し、第1回自治協会総会がコミセンを会場に開催されました。

高島自治協会会長より「高齢化や自治会加入率の低下など諸問題を抱えている中、また災害発生が想定される昨今、地域のつながりや助け合う気持ちがいっそう大切になっている」とあいさつ。その後、令和6年度の事業報告や本年度の計画・予算案など説明が行われました。さらに前年度実施したアンケート結果を受け、自治協会役員数を減らすこと、監査委員会を設置し、各種団体も含め一元的に監査を行う形にすることなど負担軽減に向けた説明があり、全会一致で承認されました。最後に出東地区消防後援会や出東小学校教育後援会などの各団体から本年度会費のお願いがあり、自治会長の方々は納付期限など熱心にメモを取っていました。

5月
18日

日

霧雨の中でも笑顔いっぱい!?
～仏経山ファミリーハイキング～

出東地区社会福祉協議会

大人17名、5歳から小学6年生までの子ども13名で山頂を目指しました。

天気は曇り空。登り始めは「涼しくてちょうどいいね～」なんて話していたのもつかの間、途中から細かい霧雨が降りはじめました。それでも元気な子どもたちは、おしゃべりの止まらない道のり。しかし、やっとたどり着いた山頂は雲の中！頂上でのすばらしい斐川平野の景色をみんなで見ることはできませんでしたが、自然と触れ合い、家族や友達と語り合いながら歩く時間は、天気以上に心が晴れるイベントとなったようです。こんな悪天候の中だからこそ味わえた「近さ」や「一体感」。おしりを泥で汚しながら「大丈夫?」と声を掛け合い降りた下山道も忘れられない体験となりました。

この事業は、出雲市社会福祉協議会の会費及び寄付金、共同募金を財源とした助成金の一部を活用して行われています。

5月
14日

水

単独開催は本年最後
—環境保全代議員会—

出雲市環境保全連合会出東支部

各自治会から環境委員49名が参加し、前年度の決算報告や本年度の事業計画などの説明が行われました。ごみの減量化や省エネの意識醸成につなげようと、本年度も環境保全視察研修を計画し、出雲エネルギーセンターの視察参加が呼びかけられました。

また、新たな活動として、ペットボトルキャップ回収協力やごみ箱ステッカーを各自治会へ配布する計画であることが案内されました。

自治会の負担軽減の一環として規約を改定。次年度から自治協会総会時の開催となることが決定し、本年度が最後の代議員会となりました。



◀ゴミ箱ステッカー

進展と停滞を繰り返した
斐伊川改修

昭和10年に完成した昭和用水

沿道を訪ねて

出東歴史散歩

Vol.13



昭和5年当時、旧斐川6か村の総耕作面積のうち77%の用水を斐伊川及び支流新川に頼っていた。一方斐伊川と新川は大正7年と大正15年に大水害をもたらした。斐川6か村に甚大な被害を与えた。このため、明治29年に制定の河川法が大正7年斐伊川に、その後松江市を含む流域全体に適用され、国の事業として斐伊川治水が計画された。大正12年大津地区で起工式を皮切りに、松江大橋川地区では直ちに工事が開始。その後、斐伊川下流域では河川数となる灘分地区の激しい反対運動を受け中断したが、昭和5年それを押し切った形で工事が再開した。

昭和6年には200トン掘削機と20トン蒸気機関車が配備され、飛躍的に作業が進捗したが、その一方で昭和恐慌による予算削減から年次計画も後ろ倒しとなった。その後、昭和9年には西代橋と源光寺橋（瑞穂大橋）の改架工事が完成した。直後の9月には、またもや大洪水に見舞われたことで、縮小されていた予算は再度増額された。

昭和10年5月には、出東地区を貫流していた旧本流御場（おば）川が閉鎖され、出東大樋から旧御場川筋を走る昭和用水が完成した。その後、太平洋戦争の激化による工費節減もあり、大正12年に始まった斐伊川・新川治水工事は、戦後20年代後半に完成を見ることになる。

5月
25日 日

要支援者に避難を呼びかける訓練実施

出東地区災害対策委員会

当日朝、「避難指示が出されたので、避難と家族の安否確認、要支援者に配慮を!」との内容で全自治会長に一斉メールを送信。防災行政無線、防災スピーカーでも呼びかけ災害時情報伝達訓練が行われました。

その後コミセンに集合し、「原子力災害時の避難方法」について出雲市防災安全課原子力防災室の荒木室長から、ヨウ素剤配布の目的や屋内避難時の留意点など説明を受けました。

第2部では昨年に続き、出雲市消防団出東分団による組織再編計画案の説明があり、2部制移行の区割りなどが提案されました。

参加した自治会長の一人は「自分に対応できない時や要支援者の方の安全確保について、改めて自治会内で話し合いたい」と意気込んでいました。



5月
31日 土

笹巻きづくりにチャレンジ!!

自主企画事業/高齢者福祉部



「みんなで笹巻きづくり」が出東コミュニティセンターで開催され、大人から子どもまで11組20名が参加しました。事前に高齢者福祉部の皆さんが笹を取りに行き、丁寧に洗い揃えたものを用意した中で、部員の古川勝広さんが笹巻きの手本を示すと、見よう見まねでさっそく挑戦! 1人10本を目標に頑張りました。

最初は上手に出来なかった参加者も徐々に手際よく巻くことができ、参加した女性は「自分のやり方は我流だから習いに来た」と、難しいしゃみせん巻を学んでいました。子どもたちは簡単な巻き方で次から次へと作っていました。

5月
20日 火

漂着ゴミの回収活動を継続 ～環境美化表彰受賞～

松江分自然環境倶楽部

約15年に亘り宍道湖西岸及び十四間川岸に漂着したごみの回収を自治会ぐるみで続け、環境意識の高揚を図ったとして、松江分自然環境倶楽部(会長持田進さん、23世帯64人)が、出雲市ポイ捨て禁止推進協議会より環境美化表彰を受賞しました。

同倶楽部は平成23年に、豊かな自然と環境を守り、はぐくみ、いつまでも潤いのある地域を将来に渡って発展、継承することを目的に松江分自治会内に設立。

出雲市役所であった授賞式で、伊藤副市長より表彰状を受け取った持田会長は「宍道湖西岸の堤防改修工事促進の要望活動を毎年行っているが、お願いだけではなくお返しも必要。出東地域全体で宍道湖西岸堤防の意識が高まればいい」と話していました。



コラム

地域のために頑張ってます!!

藤岡館長と出東地区のボランティアガイドのみなさん



古代出雲王国の語り部として

日本の古代史上最大の発見といわれた荒神谷遺跡は発掘から40年を迎えました。

1984年7月に発見、358本の銅剣が発掘され、翌年には銅矛16本と銅鐙6個が発掘されました。1998年に国宝に指定され、島根県立博物館にて展示されていますが、博物館の改修工事に伴い、今年の4月9日から来年の1月12日までの間、荒神谷博物館にて里帰り展示されています。

私たち荒神谷ボランティアガイドは、荒神谷博物館の藤岡大拙館長より委嘱を受けて、全国各地より来館される皆様に遺跡の発掘現場を案内しています。ガイドの会には現在21名が在籍しており、出東地区からは私たち5名が参加しています。

この遺跡が古代出雲王国の存在を決定付けた遺跡であることと合わせて、出雲神話で語られる壮大な古代出雲の国に想いを馳せてもらいたいとの思いをもって、皆様を案内しています。遠方からお越しのお客様も多く、荒神谷がいつまでも良い思い出として残してもらえよう努めています。

只今、ボランティアの会員募集中です。

歴史に興味がある方、一緒に活動しませんか。
問い合わせは荒神谷博物館TEL0853-72-9044まで。

おじゃまします
出東のお仕事拝見!

Vol.11

オーナーの
藤原郁(かおる)さん



暮らしの雑貨販売と 収納の提案にセンスがきらり

家は人生の時間の多くを過ごす場所。毎日が暮らしやすく、自分を大事にできる空間にしたら、きっと暮らしがよくなり、人生が明るくなるはず。

元保育士でオーナーの藤原郁(かおる)さんは、長男出産を機に収納やインテリアに興味を湧き、建築家のご主人の手伝いをしながら、内装や収納について学び始め、リフォームの内装や収納アドバイスの仕事に携わるようになった。

これからどんな暮らしがしたいのか、細かくヒアリングから始まり、その

人に合った家事や収納動線、収納方法を提案してもらうことで、暮らしやすく家時間が楽しくなる。

店内には藤細工の籠や暮らしの雑貨などインテリアを楽しむお洒落なアイテムが目を引く。「実際に試したもののなかから、使う場面をお聞きて提案することで、買ったものが活躍する。ネットでなんでも買える時代だからこそ、話をしながら買いたいと思ってもらえるのが嬉しい」と話す郁さん。「今よりもっと暮らしが楽しく、もっと自分が好きになるそんなお手伝いが出来れば」と目を輝かせる。



INFORMATION

整理収納とインテリアのお店
KURASITO_CURASINOMONO(暮らしとくらしのもの)
●出雲市斐川町荏原158(勝久寺自治会)
●設立2020年 ●TEL0853-31-4777

出東地区自治協会だより

出東地区自治協会
事務局：出東コミュニティセンター

自治協会長あいさつ

日頃より出東地区自治協会には格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年7月、日御碕地区では大雨によりこの地区に繋がる唯一の県道が崩落し、一時孤立状態に置かれました。消防や医療などの緊急時の対応、食料品日用品の調達をはじめ教育、介護等地域生活に大きな影響が生じました。

自治協会として災害など非常時の対応は最も重要だと考えています。時には行政に頼らない応急的な対応が必要になることもあります。そのためにも日頃から地域コミュニティの充実を図っていくことが大切です。

昨年度行いました自治会へのアンケート結果では、会費の減免や役員の負担軽減の意見が非常に多く寄せられていました。このことを受け、今年度より自治協会役員の人数を減らす他、各団体を横断的に監査していただくための監査委員会を立ち上げ、自治会長の方々の負担軽減に努めています。さらに、これらの様々な意見や課題に対し助言し提言する組織を新たに立ち上げ、自治会活動の不安や悩みごとなどの低減を図ってまいります。

今年度は出東小学校体育館の改修や児童クラブ棟の新設が予定されています。地域の絆を深め「安心安全なまち出東」、「活気あるまち出東」を目指し活動してまいります。今年度もよろしくお願いいたします。



出東地区自治協会長
高島 俊司

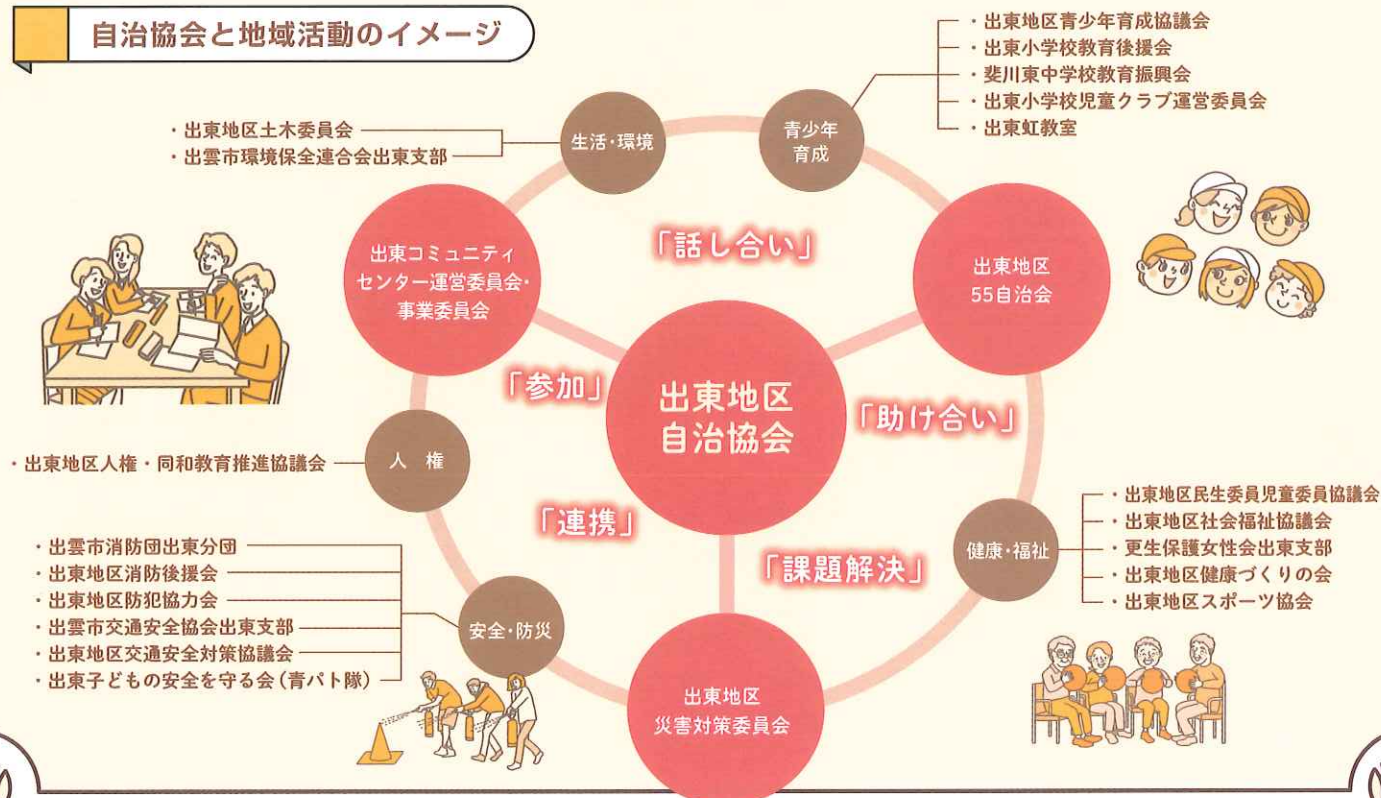
自治協会の主な役割

- ① **地域課題の解決**：防犯、防災、環境保全、健康・福祉など、地域が抱える課題を自治会と連携し、解決を図っていきます。
- ② **地域の活性化**：地域の交流促進や、イベントの開催、地域資源の活用などを通じて、地域の活性化を推進します。
- ③ **住民の福祉向上**：地域の方々の生活の質を高めるための活動、高齢者福祉、子育て支援、健康増進活動などを推進していきます。
- ④ **行政との連携**：地域住民の声を行政に伝え、地域の意見が行政に反映されるように行政と連携していきます。
- ⑤ **地域組織のネットワーク**：上記役割を果たすため、地域内の様々な団体や組織と連携し、地域全体の活動をサポートしていきます。

出東地区自治協会 令和7年度主な事業

- 4月19日(土) 出東地区自治協会総会
5月14日(水) 出雲市環境保全連合会
出東支部代議員会
5月25日(日) 防災訓練・防災研修
7月 3日(木) 環境保全連合会 視察研修
(エネセン)
9月20日(土) 自治協会代議員会、人権DVD研修
10月19日(日) 出東地区文化祭
10月26日(日) 荘原・出東一斉クリーン大作戦
時期未定 交流もちつき会

自治協会と地域活動のイメージ



■令和7年度 出東地区自治協会役員

会 長	高島 俊司 (会所)	理 事	中間 直樹 (昭和)	事務局長	竹下 弘
副会長	三島富美夫 (上の島)	理 事	藤岡 牧雄 (中洲中組)	事務局次長	大森 有紀
副会長	井上美和子 (三分市大沢)	理 事	高木 順子 (松原)	事務局員	高木日那子
副会長	飯塚 誠 (川東上組)	理 事	持田 裕二 (川東上組)	事務局員	大菅 那桜
理 事	古川 裕史 (黒目新田)	理 事	池田 千寿 (碓下)		

※自治会長の方々の負担軽減を図るため、令和7年度より自治会長と兼務をいただく1年任期の大字代表理事を廃止しました。

※また自治会長から選出いただいていた監事2名も廃止し、今後は新設の出東地区自治連合会監査委員会にて監査を行っていただくようになります。

■令和6年度 出東地区自治協会決算

【収入】

(単位 円)

費 目	予算額	決算額	増 減	備 考
自治協会費	1,170,000	1,164,800	△ 5,200	1,300円×896世帯
行政連絡業務委託料	45,000	51,000	6,000	出雲市より、要支援者名簿作成給付金
繰越金	1,352,600	1,352,600	0	前年度より
雑収入	2,400	51,842	49,442	貯金利息、つなごう出東トートバック売上金、災対活動補助金
合計	2,570,000	2,620,242	50,242	

【支出】

費 目	予算額	決算額	増 減	備 考
事務費	50,000	75,513	25,513	はがき、コピー、名刺、ゴム印代他
会議費	30,000	49,211	19,211	総会・理事会お茶代他
コミュニティセンター運営協力金	710,000	710,000	0	コミセン活動、文化祭、自主企画事業負担金他
事業費	550,000	454,832	△ 95,168	
研修費	100,000	10,000	△ 90,000	
出たなばた会	200,000	88,512	△ 111,488	
活動費	250,000	356,320	106,320	健康づくりの会58,300円、担い手37,950円、文化祭展示18,306円、もちつき会26,299円他
負担金	40,000	30,000	△ 10,000	斐川地域自治協会連合会
旅費	10,000	11,000	1,000	マイカー使用交通費
積立金	100,000	100,000	0	積立金通帳へ
手数料	5,000	3,025	△ 1,975	会費納入手数料
雑費	10,000	8,000	△ 2,000	慰霊祭ご霊前料ほか
予備費	1,065,000	0	△ 1,065,000	
合計	2,570,000	1,441,581	△ 1,128,419	

■令和7年度 出東地区自治協会予算

【収入】

(単位 円)

費 目	7年度予算額	6年度予算額	増 減	備 考
自治協会費	1,158,300	1,170,000	△ 11,700	@1,300円×891世帯
行政連絡業務委託料	65,000	45,000	20,000	出雲市より、避難行動要支援者個別避難計画作成等負担金
繰越金	1,178,661	1,352,600	△ 173,939	前年度より
雑収入	1,039	2,400	△ 1,361	貯金利息等
合計	2,403,000	2,570,000	△ 167,000	

【支出】

費 目	7年度予算額	6年度予算額	増 減	備 考
事務費	48,000	50,000	△ 2,000	はがき代、コピー、名刺代他
会議費	40,000	30,000	10,000	総会・理事会茶菓代
コミュニティセンター運営助成金	710,000	710,000	0	コミセン活動助成、文化祭、自主企画事業地区負担金他
事業費	460,000	550,000	△ 90,000	
もちつき会	50,000	0	50,000	
研修費	30,000	100,000	△ 70,000	災害対策委員会
出東子どもたなばた会	150,000	200,000	△ 50,000	
活動費	230,000	250,000	△ 20,000	健康づくりの会、広報紙、新成人担い手事業、文化祭、青バト、防犯協力会・青少年協、阿惟協助成金他
負担金	30,000	40,000	△ 10,000	斐川地域自治協会連合会負担金 出雲市自治協会連合会負担金
旅費	11,000	10,000	1,000	
積立金	100,000	100,000	0	
手数料	5,000	5,000	0	会費納入手数料他
雑費	4,000	10,000	△ 6,000	
予備費	995,000	1,065,000	△ 70,000	
合計	2,403,000	2,570,000	△ 167,000	

※令和6・7年度も、暫定的に自治協会費を1,700円から1,300円に減額据え置きとしますが、令和8年度以降は会計その他状況を見据えながら決定します。

香典返し寄付金について

出東地区自治協会では、皆様方からいただいた香典返し寄付金を特別会計として、出東地区社会福祉協議会へ配分し福祉事業に役立てていただいているほか、地域活動の支援などに活用させていただいています。

令和6年度、自治協会へ**631,000円**のご寄付をいただき、地区社協280,000円をはじめ出東小学校開校150周年記念事業実行委員会へ406,195円を助成しました。

また、令和5年度からは3,891,220円を繰越金として歳入し、7年度へは3,807,532円を繰越しました。皆様方のご厚志、誠にありがとうございました。



ひとり暮らしの方へ安心を 救急・救命安心カードを製作

出東地区民生委員児童委員協議会



ひとり暮らしの高齢者の方の安心安全をサポートしようと、本年度新たな取組みとして「救急・救命安心カード」を製作、希望者の方へ配布しました。

この「救急・救命安心カード」には、緊急時に必要な事項が記されており、消防署とも情報を共有・連携しているため、迅速な救助をうけることができるものです。会長の山根猛さんは「いざという時に救命率アップにつながることを期待し作ったもの、少しでも安心を提供できれば」と話します。



ちゃんと止まっちゃ～かいね!? 一旦停止を呼びかけるポスターを制作

出雲市交通安全協会出東支部・出東地区交通安全対策協議会



同支部では、平成28年に自転車の飲酒運転を制止するユニークなポスターを制作し話題となったが、それに続く第2弾として今回一旦停止を呼びかけるポスターを制作。今回は「一旦停止、止まっちゃ～かいね!?ちゃんと止まらんと!危ないけんわあ〜」と、出雲弁で呼びかけるとともに、見通しのよい交差点での出会い頭事故が出東地区で最も多い現状から、15年間行ってきた一旦停止調査の結果も合わせて掲載。

写真は、出東小学校児童たちが一旦停止をしない車に驚いた様子を題材にして注目を集める工夫も。A2判のポスター100枚製作し、コミセンや小中学校などに配布されました。

チーム出東

出東を盛り上げたい!

現在メンバー9名で活動するチーム出東は、とにかく出東地区を盛り上げ、地域に貢献することを目的とする団体です。地域の掃除から文化祭時の出店、ハンドメイドグッズの委託販売等で年間10回程度活動を行っています。この活動で得た売上は全額出東地域に還元しています。

わたしたちチーム出東は出東のあらゆる活動に協力します。やって欲しいこと、参加して欲しいことなどあれば、気軽に声をかけてください!!連絡は出東コミュニティセンター TEL62-5033まで。



昨年の文化祭では子どもの遊び場を提供したほか、わらび餅やジュース、メダカの販売を実施

サークルさん
+ + いちっしょい

待ってま〜す!



おねがい

ペットボトルのキャップ集めています!

出雲市環境保全連合会出東支部では、3R活動のひとつとしてペットボトルキャップ回収をしています。プラスチックのリサイクル資源になるほか、ワクチンの寄付にもなります。毎週土・日曜日8:30~17:00、リサイクルステーション開設時に回収しています。皆さまのご協力をお願いします。



The Voice

～ 皆さんの声 ～

先日の新聞記事で興味を惹かれる見出しがあった。それは、2040年以降で山陰両県がミカンやアボカドの栽培適地になるというのだ。

気候変動で野菜や果樹の農作物被害が近年深刻化している一方、九州や四国地方といった温暖地域で栽培され、安定需要があるミカンなどを育てられる可能性が生まれ、農業関係者も注目しているようだ。

島根県内では、海士町でミカン栽培されているほか、安来市内に観光ミカン農園があるが、アボカドはまとまった栽培は行われていない。アボカド栽培にチャンスありか。

●皆さんの声を募集しています!!

(三分市 50代 男性)



アンテナ出東 発行号変更のお知らせ

INFORMATION

地域の皆様により親しんでいただけるよう、令和4(2022)年6月号からアンテナ出東としてリニューアルし、この号で14号を数えます。これまでのご支援・ご協力ありがとうございます。

このアンテナ出東は3か月に一度の発行ペースとし、これまで7・10・1・4月号としましたが、この号から発行号を夏号とし、以降秋号・冬号・春号に変更いたします。これからもコミセン活動を中心に、地域の問題を集めていきますので、変わらぬご支援をお願いいたします。また皆様の身近な情報もお寄せください。お待ちしております。今後ともアンテナ出東をよろしく願っています。

出東コミュニティセンター 企画広報部



出東コミュニティセンターのInstagramやってます!
最新情報をアップしています。
フォローよろしくお願いします。



@SHUTTOUCC

ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じて地域の福祉事業に活用させていただいております。

香典返し 金一封 松浦 寿佳 様(浜)
香典返し 金一封 福間 薫 様(北島)
香典返し 金一封 福間 眞一 様(欠戸)
香典返し 金一封 内田 幸男 様(親和)
香典返し 金一封 古川 勉 様(灘東)
香典返し 金一封 廬原 雄介 様(有信)

ご厚志誠にありがとうございました。